

福祉サービス部門

総合的な生活支援のしくみづくり

基本  
目標

一人ひとりのニーズをもとに、暮らしに根ざしたサービス・支援体制を開発・実施、提言しよう！

支援／  
ケアワーク

福祉サービス利用支援関係

⑧ 安心センター事業の充実

■日常生活自立支援事業の実施

⑨ 総合相談・援護事業の充実

■総合生活相談所の開設 ■生活福祉資金貸付  
■年末たすけあい援護費の支給 など

在宅福祉サービス関係

⑩ 在宅福祉サービスの推進

■福祉機器貸与事業、ふくし移送サービス、生活援助ヘルパー派遣事業の実施 ■コミュニティバス運行事業 など

⑪ 介護保険事業の推進

■居宅介護支援事業(ケアマネジメント)の実施  
■デイサービスセンターの運営 など

⑫ 地域包括支援センターの推進

■包括的支援事業 ■介護予防事業  
■認知症総合支援事業 ■介護予防対象者把握事業 など

平成31(令和元)年度事業 ピックアップ

その  
①

生活支援体制整備業務(町受託事業)

前年度まで含まれていた「事業推進体制の整備」から分離独立して自治会福祉活動支援やボランティアセンター事業と連携を強化します。  
地域において、高齢者の生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能(資源開発やネットワーク構築の機能)を果たす「生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)」を配置します。  
地域の特色を生かした仕組みづくり(体制づくり、立上げ、基盤整備)  
「開成町地域支えあい推進会議(生活支援サービス推進会議)」の運営を町保険健康課から本会へ移管します。  
本会職員が生活支援コーディネーターの機能を発揮し(養成講座受講)、自治会福祉活動と連携を強化します。

その  
②

広域連携に向けた調整・検討

日常生活自立支援事業を軸に成年後見推進センター(仮称)設置運営について足柄上地区社協連絡会(広域)での検討を進めます。  
災害ボランティアセンター設置運営に関する訓練等の実施します。

その  
③

子育て中の親子のサロン「チビっ子らんど」の開放

未就学児とその親を対象に当事者が交流できる場をつくり、ふれあいを通じて孤立しがちな子育てを予防、子育て中の悩みやストレスを軽減します。この事業を通じ、子育て中の若い世代への町社協活動のPRを行います。

その  
④

福祉コミュニティプラン及び発展・強化計画の進行管理

①開成町と共同策定した開成町福祉コミュニティプラン(開成町地域福祉計画・開成町社協地域福祉活動計画/H28-32)と②開成町社協発展・強化計画(H28-32)の着実な遂行と評価及び必要な補正のために、進行管理をすすめます。(事務局機能の一部を平成30年度から開成町福祉課から本会へ移管しました。)

平成31(令和元)年度  
当初予算の内訳

総額 153,776千円  
(0.6%減)

